

診療科の枠を超え感染症対策

さまざまな病気を治療する病院は、感染症が発生しやすい場所でもあり、ひとたび院内感染が発生すれば重大な事態に発展してしまふ。被害を未然に防ぐためには、環境衛生を徹底することが必要不可欠だ。

群馬大医学部附属病院では、2003年4月に発足した感染制御部が、院内感染対策の舵を取る。徳江豊部長は「患者さんも医療従事者も安心できる環境づくりに努めている」と力を込める。



感染症対策について語る徳江部長

標準予防を徹底

感染制御部のスタッフは医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師の多職種連携で、病院内での指導や調査研究などを行っている。

役割は大きく二つ。院内感染を防ぐことを目的とした「感染制御チーム」(ICT)と、処方する抗生物質(抗菌薬)の誤った使用をしていないか確認をする「抗菌薬適正使用支援チーム」(AST)を編成し、病院内を巡視している。

ICTでは、各病棟の患者の感染対策が遵守されているかをチェックし、必要に応じて指導、教育を行っている。インフルエンザが流行した時には、面会や入院制限などの対応策を講じている。

ASTでは、すべての診療科を対象に、適切な抗菌薬を使用しているかを調査。抗菌薬の使用状況によって効かない「耐性菌」がどのくらい出ているかも調べている。感染症は初期治療が重要なため集中治療室(ICU)や救急診療のカンファレンスにも参加し、患者の病態の把握を進め、感染症の治療相談や推奨薬の提示などを行っている。

ICTやASTの報告などをもとに毎週ミーティングを行い、すべての患者や職員の標準予防を徹底している。病原体により異なる空気、接触、飛沫の感染経路を防

ぐために、診療科の枠を超えて万全な対策を取っている。

他施設へ改善支援も

病院内だけでなく、県内各病院との連携も図っている。医療機関などの感染症対策を推進する「群馬県感染症対策連絡協議会」では、感染症に関する発表や講演などを行う合同カンファレンスの開催をはじめ、お互いの病院の対策について評価し合い、情報の共有や強化に努め、底上げを図っている。

病院のほか、介護施設や保育園などで、短期間に何人も発症する「アウトブレイク」が発生した場合、派遣要請を受けて改善支援も行っている。

全国の「国公立大学附属病院感染対策連絡協議会」にも参加し、全国のレベルを確認し、改善目標に役立てている。

未然に防ぐ対策を

感染を防ぐためには、手の消毒、手洗いが最も重要だ。意識改革の一環として、昨年11月、医師に手洗い前後の指先を寒天につけてどれだけ菌が培養するかの実験を初めて実施。手洗いの菌の増殖を目に見える形で示すことで、改めて手洗いの有効性を実証し、意識づけを図った。

新入職員や研修生には、麻疹や風疹など感染症抗体価検査、ワクチン接種を徹底している。麻疹や風疹はワクチンで防げる病気で、2回の予防接種が必要。風疹は1回しか接種していない年代に對して、抗体検査やワクチン接種費用の公的な補助がある。冬場はノロウイルス感染症対策として、トイレ清掃に次亜塩素酸ナトリウムを使用し、感染予防に努めている。

インフルエンザは発症前でもウ



各病棟を巡視し、患者の感染症対策や抗菌薬の使用状況などを確認する感染制御部のメンバー(右側6人)

イルスを排出しているため、対策が難しく、ワクチンを接種してもかかることがある。具合が悪くて働き続けることは、感染源になり得るため厳禁だ。手洗い、マスクの着用を心掛け、早期発見、早期対応が拡大防止に必要になる。

どの大規模訓練を行っているほか、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、県内で感染者が発生した場合の受け入れなどの体制を整えている。

徳江部長は「院内感染は起きないことが期待され、未然に防ぐことが求められている。科学的根拠に基づいた対策や情報を発信できるよう、研究にも力を入れていく」とさらなる充実を目指している。

2019年度群馬大学地域貢献事業
「ユース世代のこころの健康社会に向けた県内ネットワークの推進」

入場無料
先着100名様
要予約

こころのふれあい研究会シンポジウム 第2報

若者のメンタルヘルスを支えるための実践活動

日時:2020年2月15日(土) 14:30~16:30

場所:群馬大学医学部 臨床大講堂
(前橋市昭和町3-39-15 群馬大学昭和キャンパス内)

[対象]教育関係者、若者福祉関係者、行政関係者、心理関係者、医療関係者
[参加費]無料(要予約・先着100名)

[主催]群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室/群馬メンタルヘルスネットワーク

お問い合わせ 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教室
E-mail :ikeiko@gunma-u.ac.jp

慢性腎臓病に関する県民公開講座 腎臓を大切に!



群馬県のマスコット「ぐんまちゃん」

日時:2020年3月14日(土) 開場13:30/開会14:00

場所:伊勢崎敬愛看護学院 3階大ホール
(群馬県伊勢崎市下植木町461-1)

申し込み方法 TEL.027-220-8166 (教室直通)
(土・日・祝日を除く 10:00~16:00)

上記電話にてお申し込みください。お申し込みいただいた方に参加票をお送りします。当日お持ちください。
●お申し込み必要事項…氏名、住所、電話番号、参加希望人数、日頃から腎臓のことで気になっていること

お申し込み締め切り 3月6日(金) ※先着150名に達した場合は、お申し込みいただいた方に締め切りのご連絡をいたします。お預かりした個人情報は主催団体が当県民公開講座の運営のみに使用させていただきます。

[共催]群馬県、群馬県医師会、伊勢崎佐波医師会、群馬大学医学部附属病院腎臓・リウマチ内科
群馬県慢性腎臓病対策推進協議会、東日本腎不全研究会、中外製薬株式会社
[後援]NPO法人日本腎臓病協会、公益財団法人日本腎臓財団

お問い合わせ 群馬大学医学部附属病院 腎臓・リウマチ内科
TEL.027-220-8166 (土・日・祝日を除く 10:00~16:00)